

令和7年度 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

事業所名 ラポールわかたけ

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	『この場所(町)で穏やかに共に生き「私の人生よかった」の笑顔を尽くします』を理念に認知症ケアの実践に努めている。職員は個々で唱和している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症予防啓発活動の一環として地域包括支援センターの職員と協働し、8月、10月と「健康ひろばなごみ」にてミュージック・ケアを展開。10月町内避難訓練(地震想定)にわかたけ班として参加し、地域の方と共に「地震・活断層について」講義受け、地震災害への理解を深め防災意識を高めた。	・地域におけるグループホームの役割 地域交流／認知症予防啓発／ケアに関する相談を実施して行く。 災害は備えが大切。地域の一員としていつどのようにして助け合っていくのか話し合う。 地域と協力体制を図る。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部評価結果を踏まえた目標達成計画に基づいての取り組みの進捗状況や新たな課題について話し合ったり、委員会での検討内容を報告、事故・苦情報告、研修報告、事業所での活動紹介(パワーポイント使用)等を行っている。	第2回会義では、「高齢者施設における水害対策と避難、避難先での熱中症対策について」消防署員や区長を交え、避難のタイミングや避難に関する注意点等具体的な指導やアドバイスを頂いた。避難確保計画に反映し訓練に活かした。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で、委員会での検討内容や対策、ケア現場の現状課題に対する取り組みについて伝え指導されている。又市のグループホーム連絡会に参加し、グループホームが抱える課題や取り組みについて市内事業所、市職員と情報共有し話し合う等、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市グループホーム連絡会主催の見学会にて見学者受け入れ予定していたが季節性の風邪(熱発者あり)急きょ中止となったが、次年度も参加出来ればと思っている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止・身体拘束廃止委員会を毎月開催。 日々のケアで身体拘束や虐待・不適切ケアはないか、又繋がりそうな事案について検討し、職員会議で周知。身体拘束廃止の課題と実践について外部研修受講し職員全員に周知。又第3回運営推進会議にて研修報告(視点の違いや捉え方)し、ご意見戴いた。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎月、委員会を開催するなどし、積極的に情報共有を図っていると感じられる。 ・徘徊症状の強い利用者に対して、自動ドアのスイッチを切る、出入り口付近のセンサー設置等により、身体拘束なしの安全対策をされている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会で、不適切ケアの事案を検討。職員会議にて検討内容を周知。自己点検シート・気づきのアンケートを実施・集計し現状把握。虐待防止の為の改善に努めている。定期オンライン研修、又 BPSD 対応、高齢者虐待防止についての外部研修を受講し周知している。第1回運営推進会意にて		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員の方は、利用者の特性を理解しており、制止するような言葉掛けは見られない。入所者に寄り添った対応をされている。 ・本人の意向を重視し、主治医、家族等とも連携し、忍耐強く対応している様子が報告から伺える。

				現状課題となっている BPSD 対応事例を報告し、ご意見を戴いた。			
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度についてオンライン研修受講し勉強会にて職員に周知している。入居者のみならず、在宅の高齢者を含め制度利用の必要性について話し合い学ぶ機会とした。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時、本人や家族に不安や疑問点を訪ねながら契約書や重要事項説明書の説明をし、理解・納得を図っている。解約時、契約に基づき、その決定過程を明確にして本人や家族に分かり易く説明し理解・納得戴いている。重要事項内容の変更の際には、事前に口頭にて、又書面にて変更内容に対しご理解の上同意戴いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアの中で、又面会時や運営推進会議にて本人や家族の意見等を聞き運営に反映している。年1回家族向け満足度アンケート実施・集計し運営推進会議で報告。又ラポール委員会での利用者の意見も反映している。		㊦. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族向け満足度アンケート集計結果、運営推進会議等での意見をできるだけ反映されている。（一部感染症が心配される場面での対応） ・運営推進会議や面会時の職員との会話で、家族の思いを大切にしていることが伝わり、感謝している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月職員会議にて課題となる現場の声や意見を話し合い運営に反映できるよう努めている。法人内会議にて各施設・事業所状況、苦情や事故報告等を共有し、現場に持ち帰り話し合っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生産性向上委員会にて、業務の標準化と役割分担を見直し、直接ケアに専念できるよう、又就業環境やルールを見直し(5S 管理)、職員のストレス軽減や人材確保に努めている。ストレスチェック実施。		A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・特定の職員の負担やストレスがある様に感じる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の職員のケア目標達成に必要な外部研修やオンライン研修、勉強会(自己研鑽を含む)に参加。研修で学んだことを具体的にどのようにケアに活かし、どうなったのか事例を交え職員に周知。運営推進会議でも同様に報告している。		A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・熱心なベテラン職員が難しい利用者の対応する様子を見て、新しい職員は学習する場面が多いのではと思う。 ・個々の理解度や能力的な部分では、難しい部分もあると思う。均一にすることは何処の職場でも難しい事(個別性の観点から)。だけど、各々の力量に合わせて取り組まれていると思う。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	福井県認知症高齢者グループホーム連絡協議会の研修を通じて交流を深め、又市のグループホーム連絡会に参加し、各事業所が抱える課題や活動等を情報共有し話し合い、共にサービスの質の向上に努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、本人がこれまで生きてこられた人生に思いを馳せ、日常生活でのいろいろな場面面で昔ながらの仕方や知恵や感性(人生観)を本人から学ぶなど支え合う関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	猛暑が続き外出の機会は少なかったが、ドライブでお里やお寺(願寺)巡りなど行っている。又馴染みの美容室に出掛ける、帰省するなど家族と協力しながら馴染みの人や場所との関係継続の支援に努めている。	馴染の場所や友人知人等の情報を家族の方から提供していただけるよう働きかける。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当職員は、センター方式をツールにアセスメント行い、本人の思いや生活対する意向・希望の把握に努め、他の職員と情報共有しながら可能な限り本人本位に添った認知症ケアの実践に努めている(4月、10月実施)。入居時、ご家族に協力戴きセンター方式にて情報収集を行っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓐ. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族の意向を踏まえケアの在り方、主治医の意見含め話し合いプランに反映している。本人が分かり易く実現可能なプランになるよう心掛けている。	・既存のサービスだけにとらわれず、外部サービスや地域資源などプランに取り入れる。 ・LIFE フィードバックを活用。上手くいっている点や課題点を整理、その評価を基に改善策を検討し次の目標を設定、具体的なケアプランに反映し実践。PDCA サイクルを回しサービスの質の向上を図る。	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人、家族、主治医等の間に入り、本人にとってより良いケアの選択ができるよう努力されている様に感じる。 ・人と話事、外出、趣味など楽しい事を取り入れて欲しい。 ・本人の意向を確認するのが困難な状態であり、家族としては一番身近な存在の職員にゆだねることになる。今、本人が出来る事を教えてもらい、一日でも長く継続できるような計画にして貰えれば良いと思う。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録ソフトの記録データーを活用し情報共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。利用者の様子・状態の記載が増えている。 端的に誰もが分かり易い文章に統一。分かり易い記録文章をまねるの等、職員間で努めている。		A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員の方の負担が軽減できるよう、共有し易くなるよう、ツールを活用して欲しい。 ・限られた時間の中でしっかりと取り組んでいると思う。中にはデーター入力が苦手な人もいると思うので、その部分も考慮してB評価にした。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年同様、地域包括支援センター職員と協働し、健康広場なごみにてミュージック・ケアを展開し、認知症予防啓発、グループホームを知って頂く良い機会となった。事業所内で家族と共に100歳祝いの会を催すなど家族交流の場を提供。	・ボランティアや実習生、職場体験等を受け入れ、福祉を学ぶ機会の提供。 ・利用者本人の「希望を叶える日」を実現したい。事業所、家族、地域が出来る事を把握した上で協働し実現していく。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時や利用者失踪時には、法人内施設・事業所、市、警察、消防、区長、近隣住民と協力体制を図っている。美容師、介護サービス相談員、外部サービス(個別)を受け入れている。又看護実習生と共に地域交流会に参加し、学生や地域の方との交流を深め楽しむことができた。	事業所内外での活動にボランティア、地域の方を取り入れていく為にも、地域資源を知り、繋がりを持つこと。新しく開拓、以前からの繋がりのあるボランティア(コロナ前 童謡の会、ハーモニカ等々)の継続。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	㊟. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の意向を確認、話し合いの上で納得した医療機関で受診できるよう支援。月2回かかりつけ医の訪問診療。又家族協力にて通院。医療機関との連携は密に行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	㊟. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時、医療機関の相談員を窓口にて早期退院に向け、回復目標を伝え情報交換している。カンファレンスに参加し退院後の留意点を含め多職種連携を図っている。平時から協力医療機関と急変時対応の確認、相談・診療を行う体制確保等、連携を取っている。		㊟. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日々の状況を必要に応じて看護師と共有する等、連携に努めている。 ・しっかり連を図っていると思う。ただ、全ての職員ができるようになったら、特定の人の負担が軽減できると思う。 ・医療との連携の取り組みは、家族としては安心でき心強い。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	㊟. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合、今後の支援について本人・家族の意向や要望を確認した上で、主治医と相談し、本人の状態や予後を含め事業所でできることをマニュアルに沿って個別支援している。又状態により退所となる場合も、医療機関や施設の相談員と情報共有し本人・家族の不安緩和に努めている。		㊟. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人、家族の意向を尊重しながら、支援に当たられている。又かかりつけ医との信頼関係もあつた。 ・状況変化等のタイミングで説明を受けており、ある程度のイメージをもつことはできている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	㊟. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間緊急時の連絡方法(手順)や急変時対応をマニュアルに沿っての確認を行っている 併設事業所の保健師の指導のもと感染症対策にてガウンテクニックの訓練を合同で実施している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期避難訓練実施。R7.10月町内避難訓練(地震想定)にわかたけ班として参加。地域の方と共に地震災害に対する防災意識を高めた。11月地域合同避難訓練実施。日頃から近所の方と挨拶をしたり、活動を通じて交流を深め災害時には互いに協力し合える関係が築けるよう日々努めている。	・地域合同避難訓練の際、実際に車椅子の使い方や移乗の仕方、声かけの仕方など介護職の方から学ぶことができ、良い経験となった。このようなレクチャーを受ける機会があると良いと思う。	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・施設内に、分かり易い避難方法等が掲示され、研修、実践等積んでこられた。地域の方との連携も出来た。 ・定期的な訓練は、防災対応の知識や意識になると思う。それが家族の安心に繋がるので、心強い。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の利用者との関わりの中での、言葉掛けや接し方など、接遇に関して注意すべき状況があれば、その時に職員に対し、リーダーや管理者が指導しケアの振り返りを行っている。		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員全員が、一人ひとりに合わせた対応をされていると常に感じている。安心して家族は任せられ、感謝している。 ・共同生活の中でプライバシー保護は大変だと思いますが、頑張って取り組まれている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の利用者のペースを把握し、その人の生活スタイルや暮らしのこだわりを大切に合わせつつも、生活の幅が広がるよう支援。(玄関ベンチ寛ぐ、歌謡曲聞く・歌う、自由にホーム内散歩、新聞や広告を見て談話等々)			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	㊟. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	購入した食材の検品や野菜の皮むき等、日々出来る事で食事作りに参加、茶碗洗い等片付けを職員と一緒にやっている。 利用者主体のクッキング Day、嗜好調査の実施。		㊟. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者一人ひとりの状況に応じて食に係る機会を積極的に設けている。 ・一人ひとりのできるレベルに合わせて「まだできる」という喜びを本人に持たせて頂いている。 ・食事に関わることは楽しみな事と思うし、ずっとやってきたことなので、きっとできると思われる。是非続けて欲しいです。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量と水分量のデーターを把握。体重は月1回測定。 主治医と栄養状態や摂取量について相談し、状態に合わせた食事形態や量にて提供、又食べられない方には、栄養補助食品を取り入れる等支援している。法人内施設の栄養士の相談協力得ている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食前うがい・手洗いの励行と毎食後の義歯洗浄と歯磨きの指導し口腔内確認行う等、傍で見守り支援している。 口腔ケアの拒否が強い方には、うがいを小まめにする事から始めている。義歯の不具合や治療が必要時には、協力歯科と連携し治療に繋げている。年1回歯科検診にて指導戴いている。		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・口腔ケアを拒む利用者にも食事時に、こまめに口の周りの洗浄を行う等、丁寧なケアが行われている。 ・本人は指示が入らない状態であり、拒否反応に繋がらないケアをして頂いていると感じている ・口腔ケアは大切と聞く、毎食されている様子。大変だろうと思うが続けて欲しい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄パターンやその日の状態を把握し職員間で共有、パターンに合わせたトイレの声掛け・誘導・介助行っている。オムツ使用者が殆どだが日中はショーツに履き替える、又トイレの場所や仕方が分からない利用者にはその都度誘導しトイレ動作指示行う等個々に対応。水分量や食事、運動で便秘予防に努めている。		A. 充分にできている ㊟. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・一人ひとりに合わせた介助が出来ていることは素晴らしい。(排便も大切だと聞く、誘導など苦労があると思われるが) 本人は、オムツ使用しているが、トイレで排泄介助をして頂いており感謝している。自分で伝えることができない入所者の様子を見て対応して頂いている。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴は週4回。曜日や時間、回数等、本人の希望に添える様その時の心身の状態を見ながら努めている。入浴困難方には職員二人対応にてシャワー浴や全身清拭含め状態に応じた保清と安全面に努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の睡眠パターンや不眠の要因を把握。夜眠れない利用者には、日中の活動や人との交流の場を設け、生活リズム作りを通して安眠対策に努めている。短時間の昼寝や入浴後の休息、又足腰を伸ばす時間を取り入れる等個々の状態に合わせ対応している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別の看護記録に通院・往診結果を入力し薬剤情報を綴り職員全員が把握。服薬時の本人確認や服薬確認、介助方法の統一を徹底。服薬困難な場合、薬の形状を主治医に相談、調剤薬局の薬剤師に飲ませ方や保管方法を相談。薬の変更時は経過記録し次回通院時に文章で、往診時に医師に報告している。薬一方向にて管理。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・主治医と利用者と職員の関係ができており、服薬管理も徹底されている。薬の変更時は、できれば診察後の時点での連絡をいただけるとありがたい。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の得意とすることを暮らしの役割とし、ラポール委員会を設け、毎月利用者主体の委員会を開催し「やってみたい事・頑張りたい事」等利用者の意見を反映した活動を決めている。今月の目標を決めホーム内に掲示。	毎月のラボカフェや地域交流会への家族参加を通じて家族会へと繋げたい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	天気の良い日やその時々希望に応じ、事業所周辺や近所を散歩。お花見や市内の思い出の場所、自宅付近へドライブに出掛けている。猛暑続きで出掛ける機会が少なかった。今年度より、家族協力のもと自宅や墓参り、冠婚葬祭、その地区のお祭りに出掛けている。	・外出行事の機会を増やす。 （少額の範囲でのお買い物 Day、ドライブ、町内のお祭り等） ・お花見や菊人形など、家族や看護実習生と協力しながら外出支援する。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	平成27年7月より、当事業所での現金の取り扱いはない事と決まり個人の預り金はない。小口の範囲で外出の際の買い物や飲食など楽しめる支援体制を取っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	県外の家族より、愛犬便りや絵手紙、電話はあるが、利用者自ら電話の利用や手紙のやり取りはない。希望があればそれに添えるよう支援している。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭的なぬくもりを大切にした空間づくりを心掛けている。 共用スペースに季節の花々やや毎月の作品を飾り明るく温かな雰囲気作りに努めている。廊下やフリースペースで、歩行訓練、又広いスペースでゲームを楽しむ等、利用者の活動的な場として活用している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者が共同で作成した作品を掲示してあったり、利用者ごとの標語があるなど、利用者が生活の一員と感じられるような工夫が見える。 ・共用スペースが明るく温かな雰囲気になっている。ゲームも全員参加で楽しんでいる様子が伺える。声かけやゲーム内容も、一人ひとりに合わせて働きかけておられる様子がある。 ・面会時の利用者の様子から、共用スペースの居心地の良さが感じられる。不安を感じている認知症の利用者に、安全で安心な時間と空間を作っていたいただいている。
Ⅳ. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の利用者の行動には、何かしらのこだわりや細かなルーティンがあります。そのことを理解して関わる事で安心されます。好きな事への対応、食事や入浴、排泄、活動参加等の声掛けのタイミングや工夫が必要です。職員は個々を理解し対応できるよう日々努めています。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人から、又面会時、家族や友人・知人から情報載っている。入居時、ご家族に協力戴きセンター方式（A1、B1、B2、B3シート）を活用し情報を得てケアに活かしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月健康面をお便りで伝えている。月2回訪問診療と家族協力にて他医療機関で定期受診。ヒアリハットを共有し利用者の安全を図る。又状態変化にあわせ環境整備（手摺や衝撃吸収マット設置、簡易センサー活用等）。主治医や法人内の栄養士と相談しながら状態に合った食事量や食事形態で提供。食べられない時は栄養補助食品併用。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ヒアリハット報告書で対応策をみると、良く検討され実行されている様子。本人には自由に動く事ができるのは良いが、事故の予防への配慮は欠かせない。今後もお願いします ・一人ひとりの健康状態に合わせ、食事やおやつ等を調整して頂いていると聞き感謝している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床後の身だしなみ（整髪料で髪整える） 化粧水、一人では困難になってきている為、職員が傍で見守り・声掛け、出来ないところは援助しながら継続に努めている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	思い出のアルバムや家族写真、馴染みの小物やバック、洋服、化粧品・整髪料、良く聞いていた歌謡曲（カセットやCD） 愛犬便りや家族からの絵手紙。それらを見る、聞く、読み・書く等の場面や促し支援が必要とである。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人にはきっと大切な物だろうから、身近に置いて欲しい。音楽など聞く協力もお願いしたい。 ・本人の今の状態からは難しいと思われるが、個々に合わせ対応されている。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ● C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年同様、猛暑が続き出掛ける機会は少ないが、散歩ドライブ、お買い物など利用者の希望に応じ出かけている。町内のお祭りや文化祭に参加できていない現状がある。他の地区(地元)のお祭りに家族協力にて参加会でできている。	・町内のお祭りに出掛ける際は、家族や町内の役員さんに声掛け協力いただき参加したい。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ● B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ラポール委員会にて利用者主体で月の活動を決め、クッキング Day、ラボカフェ、ゲーム等を楽しんでおり、その様子をお便りに写真を載せてご家族に送付している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ● B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・歌好きの利用者が多く皆で歌を歌っている時 ・家族との面会や外出した時や散歩した時 ・好きなお風呂に入り、今日の日付や言葉を上手く書けた時 ・リハビリ(ボール遊び)、ゲームの日。 ・自分の事ができ一緒に喜んだ時。		A. 充分にできている ● B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・面会時には本人から嬉しそうな笑顔や言葉が出て安心する。毎月のお便りの中の生き生きとした写真にも、毎回楽しませて頂いている。 ・利用者が全員参加して、楽し気に活動されている場面が見られた。リハビリも一人ひとりに合わせ働きかけている様子が見られた。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ● B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近所を散歩した際に挨拶をしたり、頂いた花は玄関や食堂、居室に自ら飾っている。今年度より、地域交流会を開催。看護実習生も参加し地域の方々と一緒に楽しむことが出来た。	次年度は、地域交流会に家族の参加を期待し、家族会に繋げていけたらと思っています。		
	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ● B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の進行とともに、重度化しつつあります。食べられない方への対応、大声を上げる BPSD 対応、個々の利用者の状態に応じたワンツーマン対応になってしまう現状ではありますが、職員が介入せずとも利用者同士互いに心配したり、「よかったね」と一緒に喜んだり、そっと体をさするなど優しさで溢れています。「大変！」ばかりに気を取られていることに職員が気づかされる毎日です。目の前のご利用者を知り良い面を力の発揮に繋げよう。	・次年度も地域交流会にて歌声披露する。 ・地域のボランティアを受け入れ、外出や作品作り、地域交流会にもお招きできるよう繋がりを持つ事から始めます。	A. 充分にできている ● B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・「希望を叶える日」を検討している等、利用者一人ひとりと向き合い、思いを尊重してケアに当たっていると感じられる。 ・職員がきめ細かな働きかけをする様子が伺える。利用者も明るい感じがする。地域との交流も広がって様子。ボランティアなど外部の人との交流もあると良いのでは。 ・認知症は年々進行しているが、ラポールさんから心ある暖かい介護を頂き、本人は仲良しの利用者さんと共に幸せな毎日を過ごせていると感じている。地域との繋がりを持てている事も感謝している。